

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

551-301

事務事業名	水道料金改定事務				財務会計上の位置付け	会計	1	款	4	項	1	目	6	細目	10	細々目	1	19予算額(千円)	1,451,000	
部等名	水道環境部	課等名	水道業務課		包含する細々目															
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり																			
施策	45 居住基盤の向上																			
実施区分	継続	会計	水道	環境調整会議	不要	関連計画 水道長期整備計画 水道条例														
		事業期間		年度～	年度															

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	水道料金(上水道・簡易水道)	水道料金調定額(千円)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	1451000	1520000	23年度以前に終了は終了年度とする
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
上水道事業における水道水供給に係る費用を水道料金と適正な一般会計負担により安定して水道運営できるように見直しをする	水道事業全体の料金回収率 * 料金回収率:水道供給単価 / 水道給水原価(有収水量1立米あたりの、水をつくる費用で水を使っていたが、料金を割った) 簡易水道事業の一般会計からの基準外繰入金 * 繰入基準以外の歳入不足を補うもの	18目標	最終目標				
		18実績	19目標	0.95		↑	
		23目標	1.02	23実績			最終目標達成年度
		18目標	最終目標				
		18実績	19目標	115000			↑
		23目標	50000	23実績			最終目標達成年度

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業の長期財政見直しによる健全な水道経営を行うため、3年毎の定期的な水道料金の見直しを行う。 簡易水道料金については、平成17年度より料金統一してきており、負担の公平性により上水道料金に併せた料金改定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業長期財政見直しの検討作成 「安全でおいしい水を安定して供給する」ための、必要な施策の立案や施設の長期整備計画の作成 		
	18年度の実績			
	19年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度策定「水道長期整備計画」と18年度水道会計決算にもとづいた財政見直し作成による料金見直し案の作成 適正な水道料金の見直し案の審議会審議及び議会等との調整 水道料金の見直し決定とお客様への周知 		

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源			
事業費計(A)		0	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 200	19年度 600
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	715	2,146
	トータルコストA+B	715	2,146

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	水道事業の健全な経営による水の安定供給により、市民の生活基盤を守る目的が達成される。		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
水道事業の運営開始による	<ul style="list-style-type: none"> 少子化による人口減少や、節水意識の高揚による水道使用量の減少が今後見込まれ、経費の削減や経営の効率化が求められる。 簡易水道の上水道事業への統合により、公債費や減価償却費の増加により営業利益が減少していく。 水道施設の老朽化が進んでおり、安全で安心した水道供給のための施設整備等が急務となってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 17年4月改定(上水道料金と簡易水道料金の統一)時の上下水道運営審議会の答申で付帯された意見は次のとおり。 安定した水道事業を推進するため、公営企業の健全経営に努められたい。 安全でおいしい水の供給のために、計画的な施設の保全改良に努められたい。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	過去の料金改定試算を実績データにより整理し精査する ・事業運営実績に基づく収支見込みと長期整備計画実施のためのシミュレーションの作成による分析
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	